

**銅・アルミレポート**

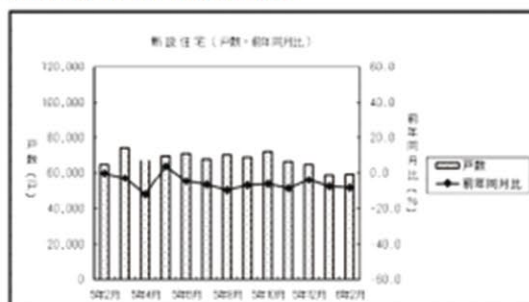
橋本アルミ株式会社取締役  
**橋本 健一郎**

3月のアルミ概況および4月の見通し (2)

## 予想レンジ

LME 現物後場買い	2,200-2,400ドル	●
スクラップ	+10円~20円 (前月最終価格より)	●
為替	148円~153円	レンジ内
(1か月間TTM)		

## 新設住宅 (戸数・前年同月比)



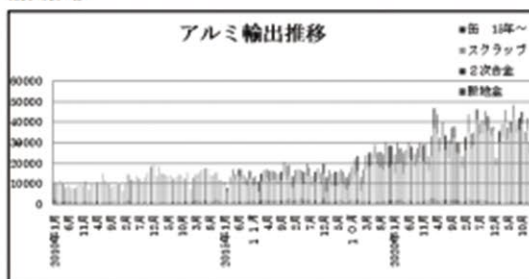
## 貿易指標

## 【輸出】

新地金新地金は+21.7%の325 t。  
二次合金は-36.4%の563 t。  
スクラップは-10.8%の2万6,100t。  
アルミ缶は+4.5%の5,441 t。

輸出	12月	1月	2月
新地金	378 t	340 t	325 t
前年比	+51%	+246.9%	+21.7%
二次合金	793 t	791 t	563 t
前年比	-33.5%	-4.5%	-36.4%
スクラップ	3万5538 t	2万3499 t	2万6100 t
前年比	+3.6%	+30.9%	-10.8%
缶	5401 t	5058 t	5441 t
前年比	+56%	+35.7%	+4.5%

## 輸出推移

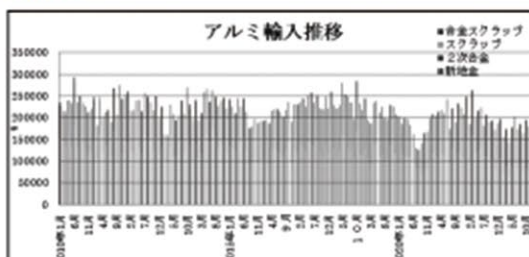


## 【輸入】

新地金は+28.4%の9万2,377 t。  
二次合金は+3.1%の8万4,969 t。  
スクラップは-23%の348 t。  
合金スクラップは-29.1%の5,745 t。

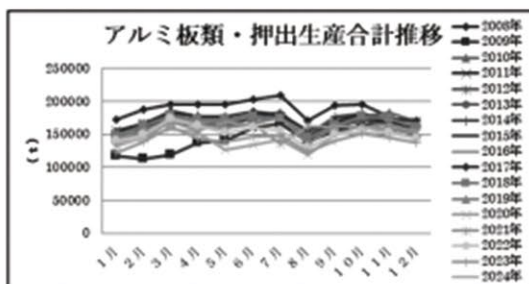
輸入	12月	1月	2月
新地金	7万7221 t	9万6570 t	9万2377 t
前年比	-22.8%	-11.4%	+28.4%
二次合金	8万7742 t	10万3439 t	8万4969 t
前年比	+2.7%	+18.4%	+3.1%
スクラップ	594 t	590 t	348 t
前年比	-26.2%	-42.3%	-23%
合金スクラップ	8727 t	8263 t	5745 t
前年比	+27%	-8.9%	-29.1%

## 輸入推移



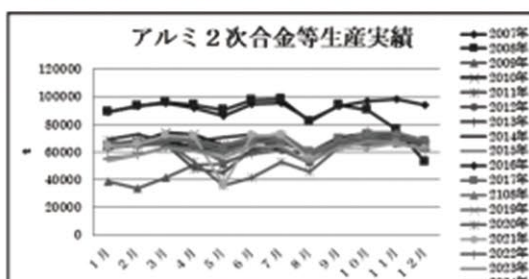
## 【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比+2.4%の14万2,616 tで23カ月連続マイナス。



## 【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比は+1.4%の5万8,394 tで3カ月連続プラス。  
出荷は-1.5%の5万8,363 tで2カ月連続マイナス。



## ■国内概況まとめ

## 【自動車生産】

生産動態統計によると2月の自動車生産台数は前年比-16.1%の58万8354台。輸出は前年同月比+13.7%の33万2,992台。

## 【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると3月の自動車販売台数(軽除く)は前年比-19.9%の30万3,216台。

## 【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比+2.4%の14万2,616 tで23カ月ぶりプラス。

## 【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比は+1.4%の5万8,394 tで3カ月連続プラス。出荷は-1.5%の5万8,363 tで2カ月連続マイナス。

## 【輸出】

新地金は+21.7%の325 t。  
二次合金は-36.4%の563 t。  
スクラップは-10.8%の2万6,100 t。  
アルミ缶は+4.5%の5,441 t。

## 【輸入】

新地金は+28.4%の9万2,377 t。  
二次合金は+3.1%の8万4,696 t。  
スクラップは-23%の348 t。  
合金スクラップは-29.1%の5,745 t。

## 【見通し】

## 【自動車】

2月の自動車生産が-16.1%。3月国内販売台数が前年比-19.9%。3か月連続減少、前月に続きダイハツ、トヨタ問題による生産販売低迷。そろそろ回復との予想。

## 【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比+2.4%の14万2,616 t

で23カ月ぶりプラス。中国景気回復?によるスマホ需要からか?か来月に期待薄。

## 【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

二次合金生産が3カ月連続回復。トヨタ、ダイハツ不正問題の影響が収まり回復の兆しが出てきた。

## 【スクラップ景況予想】

流通(一次問屋)在庫は前月に続きLME価格が2100から2300ドル台と上昇傾向だった。ダイハツ、トヨタ問題の影響も収まり需要が回復。在庫薄。

需要面に関して、ダイハツトヨタ問題や中国の買いから需要回復、需給が引き締められた。

## 【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。

## ①米FRBの金融政策

米経済指標が好調な結果を示していることを受けて3月29日にFRBのパウエル議長が米「利下げを急ぐ必要はない」と述べていた。製造業指数の改善を受けて利下げの時期が遠のくとの観測。

## ②中国景気

国家統計局が31日発表した3月の製造業購買担当者指数(PMI)は50.8。2月が49.1、50.8という水準は昨年3月以来の高さ。

建設業とサービス業を対象とする非製造業PMIも53と、2月の51.4から上昇。多少回復の兆しあり。

これらを踏まえた今月のアルミ価格は2,200-2,400ドル(セツル)との予想。ドル円値は148円~153円(TTM)台を予測。スクラップ購買価格に関しては+10~20円程度と予想している。

(「3月のアルミ概況および4月の見通し」おわり)

[nikkankinzoku.co.jp](http://nikkankinzoku.co.jp)

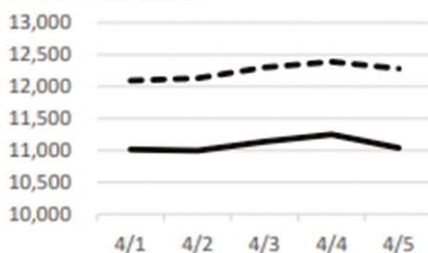
PW NWJ2448796



## 金銀山元建値週間推移

4月1日~4月5日

## 金山元建値週間推移



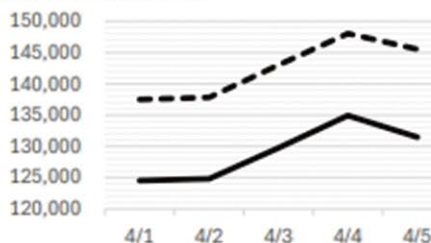
	4/1	4/2	4/3	4/4	4/5
--- 金小売	12,091	12,130	12,298	12,386	12,278
— 金建値	11,017	10,995	11,135	11,247	11,040

3月平均 建値 小売

金(¥/g) 10,410.05 11,470.50

銀(¥/kg) 119,620 132,290

## 銀山元建値週間推移



	4/1	4/2	4/3	4/4	4/5
--- 銀小売	137,500	137,830	143,000	148,060	145,530
— 銀建値	124,510	124,830	129,740	134,910	131,470